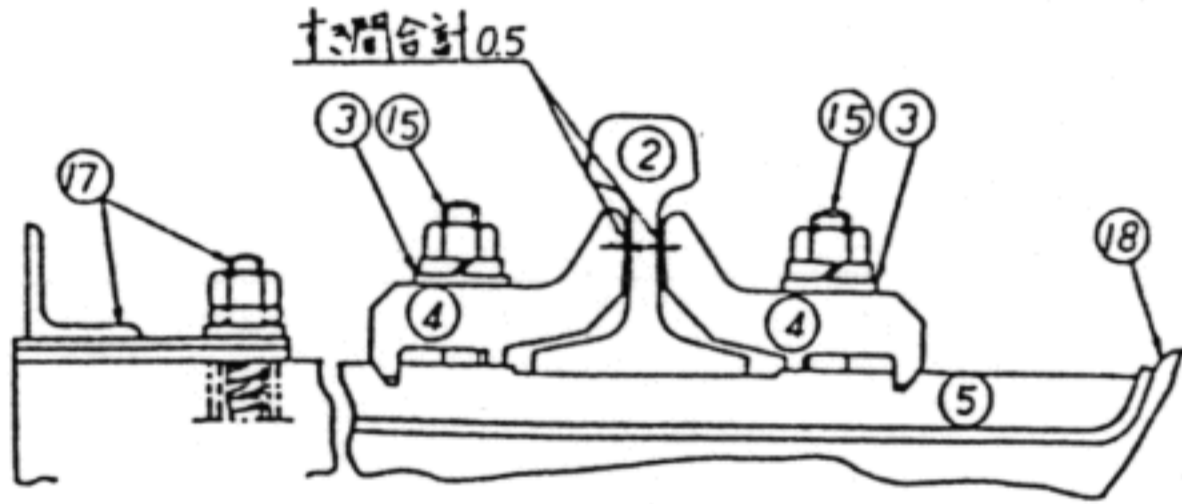
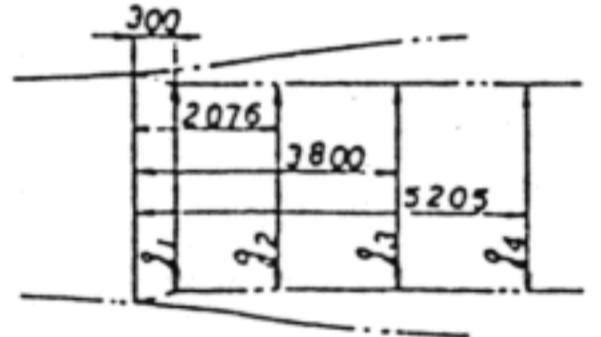
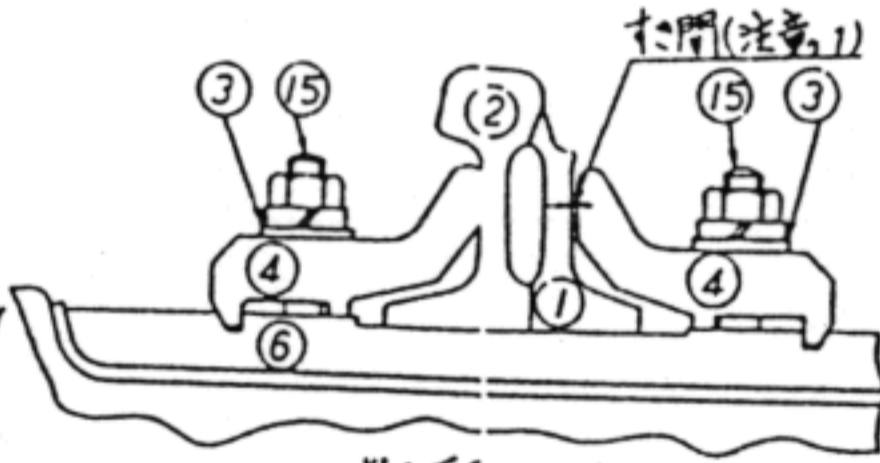


B 図面省略
A 図面と対称

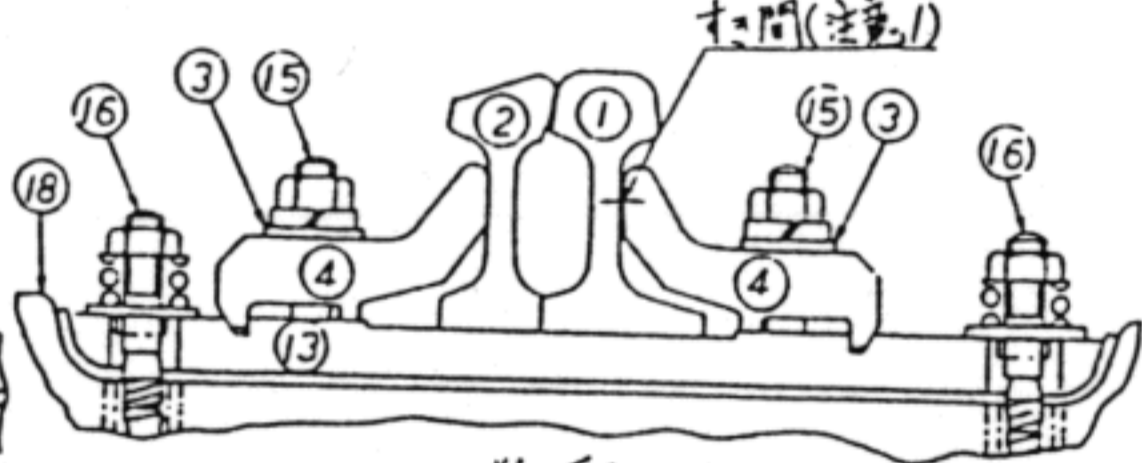
伸縮による軌間の変更



断面 A-A



断面 B-B



断面 C-C

A および B 材料表

符号	参照図面		名称	寸法	材質	数量	備考
	図面番号	符号					
1	GT11729	1 2	トングレール	6275+α		1	60L-ル
2	GT11730	1 2	受けレール	6275+α		1	60L-ル
3	GT11743	3	床金	φ55 x 6	SS41 SC46 INSS41	20	
4	GT11748	3 4	レールプレス			20	
5	.	1-あ 2-あ	床板	200 x 32 x 613	SS41	1	
6	.	1-い 2-い	.	.	.	1	
7	.	1-う 2-う	.	.	.	1	
8	.	1-え 2-え	.	.	.	1	
9	.	1-お 2-お	.	.	.	1	
10	.	1-か 2-か	.	.	.	1	
11	.	1-き 2-き	.	.	.	1	
12	.	1-く 2-く	.	.	.	1	
13	.	1-け 2-け	.	.	.	1	
14	.	1-こ 2-こ	.	.	.	1	
15	D10012	6	ボルト	b.55 24 x 130	SCR440	20	φ77-17.2x計
16	GT11749	a	補修装置			10	
17	.	b	補修材料	L50 x 50 x 6 x 4650		1	
18	GT11746		PCマタギ	270 x 214 x 2200		10	AB-計に付随

表-1

トングレールの移動	軌間の増減			
移動	21	22	23	24
+100	-0.5	-1.0	-0.5	0
+75	0	0	0	0
0	+1.4	+3.0	+1.3	0
-100	+3.4	+6.9	+3.0	0

トングレールの移動の符号はNo2床板中心とトングレール先端の間隔の広がり方向を+ 縮む方向を- とする。

敷設使用上の注意

- トングレールの腹部エレプレスで押える設計であるので符号④のレールプレスはトングレールの伸縮に必要の伸縮をあらかじめ設けて符号⑤のボルトを強く締付けること。上記伸縮とはストローク±0の時を示しその値は下記表-2に示す。

表-2

ストロークNo	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
伸縮寸法	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	

- この伸縮値は図に示す列車進行方向になるべく敷設すること。
- 敷設使用後軌間の狂いが生じた場合は床板はそのまゝにして符号④のレールプレスを移動することにより軌間調整をすることが出来る。
- 床板は軌間線に対して直角に敷設すること。
- トングレールと受けレールはなるべく同時に交換すること。

備考 1. α は補修用に限って適用し α = 1200 とする。

名称	伸縮継目 PCマタギ用
種別	道床用 (60L-ル用)
図面番号	GT11747 2枚のり1枚
西味旅客鉄道株式会社	